

平成26年度 第4回 広報公聴委員会 会議録

開催日	平成26年 8月26日(火)
会議時間	午後1時00分 ~ 午後1時26分
開催場所	佐倉市議会 議会棟2階 第3委員会室
出席委員等	[委員長] 石渡 康郎 [副委員長] 久野 妙子 [委員] 高木 大輔、五十嵐 智美、村田 穰史、小須田 稔、 川名部 実、櫻井 道明、望月 清義
欠席委員等	なし
委員外議員	なし
説明のため出席した者の職氏名	なし
議会事務局	[局長] 関口 直行 [書記] 村上 一郎、室岡 秀樹、矢島 隆成、酒井 理恵子
協議事項	(1) 意見交換会の開催概要について

【決定事項】

(1) 意見交換会の開催概要について

- 意見交換会の相手方を、①地域包括支援センター、②特別養護老人ホーム、③民生・児童委員協議会の3団体とする。
- 次回の委員会で具体的な実施計画案を提案する。

【主な意見等】

(1) 意見交換会の開催概要について

※事務局から正副委員長案（3案）を説明。

A案・・・これからの介護問題をテーマに、地域や施設で介護問題に関連の深い2～3団体（地域包括支援センター、特別養護老人ホーム、民生・児童委員）との意見交換

B案・・・高齢者関連の問題をテーマに、高齢者とかかわりのある多くの団体（A案の団体のほか地区社協、高齢者クラブ、シルバー人材センターなど）との意見交換

C案・・・特定の1団体と、その団体に沿ったテーマによる意見交換

- 特養の職員との意見交換とあるが、市内9か所あるうちのどの施設を選ぶのか。また市内の施設関係の協会があり、特養だけでなくいろいろな施設の方々が入られているので、そちらを相手方としてはどうか。

→特養の職員の方は忙しく出席は難しいと思われるので、包括支援センターのセンター長や特養の施設長を想定している。確かに協会であれば、幅広い方に参加してもらえるのが良いのだが、今回相手方を議員と同数程度で予定し、特養だけでも9施設あることから、それ以上上げると選定が難しくなる。

- 施設の方を対象にするとのことだが、人手不足などの問題もあり、施設の皆さんは毎日大変

であると思う。出席が可能かどうかの確認はされたのか。

→直接施設には確認していないが、市の担当課に可能かどうかの意見を聞いた。特養施設は確かに忙しく、施設の行事などと重なる可能性もあるが、話をすれば検討してもらえる余地はあるのではないかとのことである。

- B案は多くの団体の方に来てもらうようだが、グループ分けはどのように想定しているのか。(団体ごとにまとまるのか、ばらばらに分けるのか。)

→昨年と同じやり方をベースで考えている。どのように分けるのかは今後の話し合いになる。

- A案に賛成する。介護保険法が変わって、地域のケアに全体がシフトしていく。幅広い団体に関わってもらうことだが、とりあえずは、その中の核となる3団体と課題について意見交換をすることが必要である。

- 集まりやすさ、課題の絞り込みということだと、民生委員との意見交換がよいと思う。いろいろな地域の民生委員に集まってもらってはどうか。

- A案であれば論点が絞れると思うが、その中に地区社協の方を加えてはどうか。また民生・児童委員はどのように選ぶのか。

→現在定数 209 名、8 地区の民児協があり、その代表が集まる市の民児協がある。市の民児協に 10 名程度（各地区から 1～2 名程度）の出席を依頼する予定。

→ 今年度の意見交換会についてはA案で行う。相手方の人数については、団体と話し合い決めたいと思うが、だいたい議員と同数程度で3グループに分けやすいような人数にする。

→ 相手方の候補としてあがった団体に確認をとり、次回具体的な実施計画案を提案する。

【今後の開催について】

平成 26 年 9 月 10 日（水）本会議終了後

平成 26 年 10 月 1 日（水）午前 10:00 から

「議会だより（9月定例会号）について」

「意見交換会について」

以上のとおり会議要録を作成し、ここに署名する。

委員長 石渡 康郎